

オンラインツールを活用した情報発信

■コープみらいフェスタの概要

組合員や、地域の皆さんにコープみらいをもっと知ってもらう事を目的として、その年のテーマに沿った展示やイベント、各担当支部の取組を紹介するブースを設けたフェスタを行ってきている。2019年は食育「たべる、たいせつ」をメインテーマにして東京、埼玉、千葉の会場で実施したが、2020年からはオンラインを中心として開催している。

■コープみらいオンライン交流フェスタ2021

2021年12月16日(木) 10:00~15:00

※終了後より2022年1月11日(火)までオンライン配信

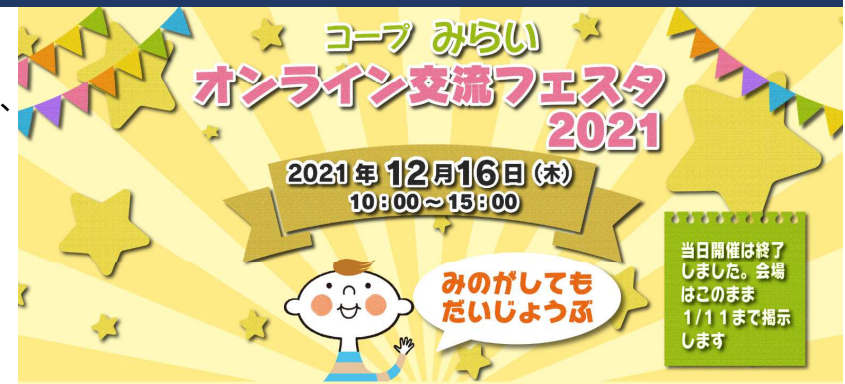
コロナ禍でもコミュニケーションの方法を工夫しながら進めてきたブロック委員会の地域での活動や、コープみらいの取り組みを、組合員の活動を中心に紹介する内容となっている。当日限定のZOOMやインスタライブで情報発信しながら行うオンラインでの学習交流会、記事の掲載のほか、各支部が作成した動画をyou tubeで配信する仕組みなど、さまざまなオンラインツールを活用して発信しており、出店ブースは126にのぼった。

■食育関係のブースの紹介

○米活（食と商品チーム）

「食べて、未来につなごう 日本の米づくり」をテーマに、食べることで日本の米作りを応援しようという取組を発信している。食生活の多様化や個人の好みの変化、コロナ禍における外食産業の米の消費減少などにより、全体的な米の消費量が減っている現実を受け、このまま米の消費が減り、新米が出来ても価格が下がって生産者の打撃が大きくなるのを少しでも回避させるために、米を食べて応援する「米活」の推進を提案している。「米活」により①生産者を支える(農業の持続化)②国内の食料生産力の維持③食料自給力アップの効果が期待できること、また米を中心に主菜、副菜を組み合わせたバランスのよい食事の推進を提案した。

生活協同組合コープみらい



所在地：埼玉県さいたま市

2013年3月21日に、ちばコープ、さいたまコープ、コープとうきょうの3生協が組織合同(合併)して誕生した、千葉県、埼玉県、東京都の約358万人が加入する日本最大の生活協同組合で、コープデリグループに属する。コープデリグループは2025年までに実現を目指す「ビジョン2025」として、“食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ”という目標を掲げている。コープみらいでも、食の安全・安心、環境、子育て・食育、地域社会とくらし、平和・ユニセフ、参加と交流などについての取り組みを行い、地域の人々とともに持続可能な社会を目指している。

■食育関係のブースの紹介

○コープデリ商品検査センターオンライン見学（食と商品チーム）

埼玉県のコープデリ商品検査センターで実施している「リモート学習会」「体験学習会」を配信している。生産者から消費者に食材がつながる「フードチェーン」や、安全な食品を提供するための検査、管理の方法などを説明し、微生物検査、残留農薬検査などについて詳しく実践の様子、科学の視点を入れた実験や体験を取り入れた学習がリモートで受けられる。

○出前授業（東京エリア活動サポーター）

食育に関する学びを応援する目的で、地域の自治体や市民団体、学校などに向けて行っている、体験型の出前授業について一例を紹介している。

「早寝、早起き、朝ごはん」成長期の体に必要な睡眠や食事の大切さを考える

「もったいないを考えよう」給食ができるまでに様々は人が関わっていることを学ぶ。

世界ではどのように食べ物が分けられているか（食の不平等）、食品ロスが発生していることも学び、自分たちにできることを考える。

○食品ロスを考えよう（千葉5区ブロック委員会）

「みらいくんのいちにち」という紙芝居を通じて、食べられることなく捨てられてしまう「食品ロス」について考える。1日の食べ残しや野菜の残渣がどれだけあり、それはどのように活用できるか、また、食品ロスはもったいないというだけではなく、燃やす時の「温室効果ガス」発生により異常気象の原因になることから、持続的な社会のために、何をしたらいいのか考える。

○やっぱり国産！大豆みそ“だいずき”（千葉5区ブロック委員会）

国産素材の大豆と長期熟成生みその商品を使ったレシピ、大豆の知識、みその効果・効能をクイズ形式で動画で紹介している。

○活動サポーターSDGs編（埼玉エリア活動サポーター）

17の開発目標であるSDGsについて、出前授業、地域の講座、子供オンライン講座などを通じて身近なことから学んでもらう取組を紹介している。世界全体の共通目標を知り、自分にできることを考えるきっかけになるよう、交流とクイズを通じて楽しく学習できる内容になっている。

